

半分都会で、半分田舎がちょうどいい。

なんぶぐらしの始め方

八戸都市圏移住セミナー ———— 会場とオンラインのハイブリット開催

豊かな自然を感じながら、のんびりと暮らしたい。
でも買い物や医療は便利なほうがいい。
青森県南部地方の8市町村で構成された八戸都市圏は、そんなあなたの希望をかなえる「ちょうどいい田舎」です。
移住すると、どんな未来が待っているのでしょうか。自分らしい暮らし方や、のびのびとした子育てを実現している先輩移住者のお話を、ちょっと聞いてみませんか。

日時

2022.3.6 SUN

13:00～15:30

参加無料（会場定員20名）

会場

東京交通会館 4F

/ ふるさと回帰支援センター セミナールームC・D
東京都千代田区有楽町2-10-1



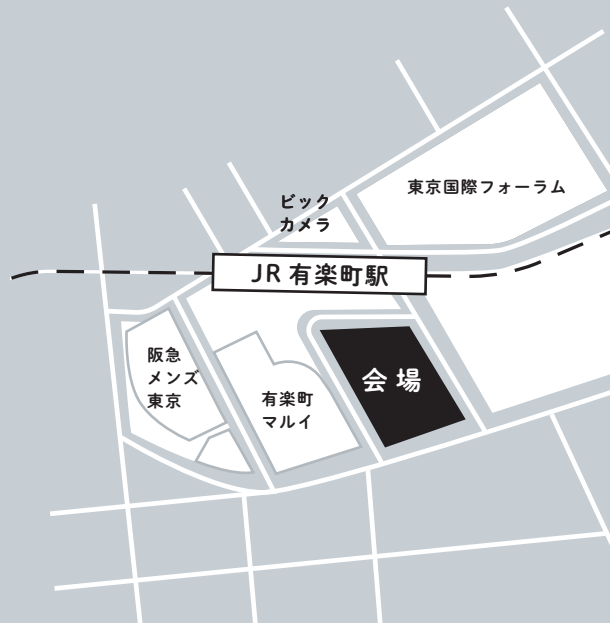
JR 山手線・京浜東北線 有楽町駅 京橋口 徒歩1分
東京メトロ有楽町線 有楽町駅 D8出口直結(地下)

主催

八戸圏域連携中枢都市圏

(八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)

東京オフィス 2022年 第94・95回ふるさと暮らしセミナー



なんぶぐらしの始め方



農業を始めたい！新しく事業を起こしてみたい！
自然がいっぱいの地方で、のびのびと子どもを育てたい！
ストレスの少ない環境で仕事をしたい！
そんなあなたに「ちょうどいい」お話を聞いてみませんか。

同時
開催

市町村への
個別相談
(13:00 ~ 15:30)

プログラム 13:00~15:30 (受付開始/12:45)

- ①13:00~13:10 アイスブレイク
- ②13:10~14:00 トークセッション「いなかでの起業・就農の始め方」
- ③14:00~14:45 クロストーク「奥さんの地元に住むメリット」
- ④14:45~15:30 先輩移住者への個別相談

先輩移住者



Uターン起業家
八戸市
藤 加奈子
わらび・かなこ

八戸市出身。東京の紙媒体・Web 媒体の制作会社で編集、ディレクターに携わっていたが、出産後、子どもが入園できる保育園が見つからず待機児童に。埼玉県出身の夫の「田舎で子育てしよう!」という後押しもあり、2013 年末に会社に籍を置いたまま八戸市にリモートワーク U ターン。その後、地元のweb制作会社に転職したものの「web ディレクターの仕事がしたい!」という思いが募り、2018 年に独立。Web ディレクション会社「ワラビノーツ」を開業する。



Iターン農家
五戸町
山口 平
やまぐち・たいら

神奈川県座間市出身。青森県平内町出身の千代さんとは関東で知り合い、その後結婚。30代半ばから食べ物によるアレルギーが出始めたことがきっかけで、安全な作物を自分たちの手で栽培したいと思うように。そこから農業の道を志し、会社勤めを辞め、2017年3月に千葉県から五戸町へ移住。移住後、同町で2年間の農業研修を経て、2019年4月に新規就農。「ちへいの畑」の屋号で畑を営む。農薬や化学肥料、堆肥を使わない自然栽培を行っている。



Iターン農家
田子町
沢森 靖史
さわもり・やすし

宮城県仙台市出身。大手通販の営業職などをを経て、2014年10月から田子町の地域おこし協力隊員に。2017年3月、同町出身・在住の由華さんと結婚し、同年10月に新規就農。「ふくふくファーム」と名付けた農園では主に、にんにく、スナップエンドウ、えごまなどを栽培。これからの農業のための六次産業化を模索している。趣味は写真・動画撮影、川柳。

八戸都市圏とは？

「八戸都市圏」は、その名の通り、青森県太平洋側の南東部に位置する八戸市を中心に、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町の8市町村で構成された地域で、農水畜産業や商工業、流通・サービス業といった多様な産業集積や、陸・海・空の交通アクセスに恵まれ、通勤・通学、医療、買物等の日常生活圏が形成されています。



ファンクラブもあるよ!

「ふるさとを離れてなんとなく寂しい」、「もっと地元のことを知りたい」、「今、地元ではどんなことをやっているの?」と思っているけれど、めったに『ふるさと』には帰れない。「八戸エリアの旅行は楽しかったよね」、「あそこで食べたものが美味しかった!また食べたい!」

そんなあなたにお応えするために「八戸都市圏ファンクラブスクラム8」があります。登録方法は、LINEから「友だち登録」するだけ。LINEで八戸都市圏のさまざまな情報をお届けしちやいます!



お申込方法 申込フォーム、Eメール、いずれかでお申し込み下さい。

申込フォーム

下記URLまたは右のQRコードから申込フォームにアクセスいただき、入力事項を入力後、送信ボタンを押して下さい。

<https://00m.in/7rArf>



Eメール

必要事項(氏名、住所、電話番号)を本文に入力し送信ください。

h_iju@daily-tohoku.co.jp

申込締切

2022年3月4日(金) ※定員に達し次第、受け付けを終了いたします。

新型コロナウイルス感染症対策

セミナー会場では、新型コロナウイルスの感染予防対策を行って開催いたしますが、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、「参加者の安全」と「感染防止」を最優先に考え、ライブ配信でのプログラムに変更する可能性がございますので、あらかじめご了承ください。